



QNAP簡単セットアップガイド

QNAP 簡単セットアップガイド

(2023 年 05 月版)

01 QNAP の初期セットアップをしよう

- 1-1. QNAP にハードディスクを取り付けよう
- 1-2. QNAP をネットワークに接続しよう
- 1-3. Qfinder Pro を PC にインストールしよう
- 1-4. Qfinder Pro を起動しよう
- 1-5. スマートインストールガイドで設定をはじめよう
- 1-6. QNAP の Web 管理画面にアクセスしよう

02 QNAP にデータを保存しよう

- 2-1. ストレージプールを作成しよう
- 2-2. ボリュームを作成しよう
- 2-3. 共有フォルダを作成しよう
- 2-4. 共有フォルダにアクセスしよう (Windows 編)
- 2-5. 共有フォルダにアクセスしよう (Mac 編)

03 QNAP にアクセス権を作成しよう

- 3-1. ユーザを作成しよう
- 3-2. ユーザグループを作成しよう
- 3-3. アクセス権を編集しよう
- 3-4. アクセス権を確認しよう

04 QNAP にリモートアクセスしよう

- 4-1. QNAP Account を作成しよう
- 4-2. myQNAPcloud を設定しよう
- 4-3. QNAP にリモートアクセスしよう
- 4-4. 外出先からファイルを操作しよう (PC 編)
- 4-5. 外出先からファイルを操作しよう (スマホ編)

05 QNAP のバックアップ機能を使おう

- 5-1. PC のデータを QNAP にバックアップしよう
- 5-2. QNAP のデータを外付けディスクにバックアップしよう

06 QNAP ヘルプデスクに問い合わせよう

- 6-1. チケットを作成しよう
- 6-2. チケットの進捗確認や返信をしよう

07 QNAP ライフを更に楽しもう

01. QNAP の初期セットアップしよう

1.1 QNAP にハードディスクを取り付けよう

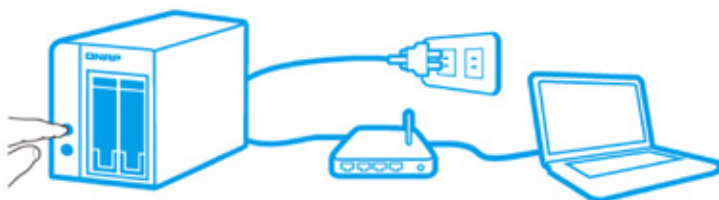
QNAPのNAS(以降、QNAP)にハードディスクが取り付けられていない場合は、同梱の「クイックインストールガイド」を参考にして、あらかじめ取り付けてください。

ハードディスクは、QNAP 社ホームページでお求めのQNAPと互換性があるか必ず確認をしてください。

QNAP 社ホームページ(互換性一覧): <https://www.qnap.com/ja-jp/compatibility/>

1.2 QNAP をネットワークに接続しよう

QNAP をご利用のネットワーク機器(ルーター、スイッチなど)に同梱のイーサネットケーブルを使って接続します。また、QNAP を操作する管理用 PC もQNAPと同じネットワークに接続されているか確認しましょう。電源ケーブルをつなげたら、QNAPの電源ボタンを押してください。



※ 付属の電源ケーブルは当該製品専用です。他の機器には使用しないでください。

QNAP 正面のインジケータが点灯点滅し、「ビー」という音が聞こえたら、起動開始の合図です。起動が完了するまで1分～5分ほどお待ちください。(起動までの時間は機種によって差があります。)

1.3 Qfinder Pro を PC にインストールしよう

次に管理用 PC へ「Qfinder Pro」という無料のソフトウェアをインストールしましょう。

「Qfinder Pro」は、同一ネットワーク上にある QNAP の IP アドレスの検出をはじめ、QNAP の Web 管理画面や共有フォルダを開いたり、稼働状況を監視したり、QNAP の管理に欠かせない大変便利なソフトウェアです。「Qfinder Pro」は QNAP ホームページからダウンロードできます。

QNAP 社ホームページ(ユーティリティ): <https://www.qnap.com/ja-jp/utilities/essentials>



アイコンをクリックしてダウンロードを開始してください。

Windows、Mac、Ubuntu、Chrome OS の中からご利用の PC に合わせてインストールしてください。

1.4 Qfinder Pro を起動しよう

「Qfinder Pro」を起動すると同一ネットワーク 上にある QNAP が一覧表示されます。初めて設定する QNAP は、「サーバーはまだ初期化されていません」とポップアップが表示されるので、「はい」をクリックして、「スマートインストールガイド」へ進んでください。既定のウェブブラウザ（Microsoft Edge や Google Chrome など）が開き、設定ページが現れます。



※「サーバーはまだ初期化されていません」のポップアップが表示されない場合または消してしまった場合は、「Qfinder Pro」の「ログイン」ボタン(🔑)や一覧表示された QNAP をダブルクリックして「スマートインストールガイド」を表示させてください。

1.5 スマートインストールガイドで設定をはじめよう

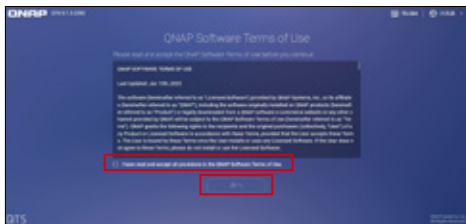
ウェブブラウザで QNAP にアクセスすることができたら設定を開始します。「スマートインストールガイド」の前に「ファームウェアのインストール」画面が現れたら、「開始」ボタンをクリックして最新のファームウェアに更新するようにしてください。ファームウェアが更新されると QNAP は自動で再起動をします。



- 1)
Qfinder pro からクリック後、「QNAP 保証サービス」画面が表示されます。「保証の確認」から内容を確認してください。「QNAP 保証サービス」画面下の「閉じる」を押して次に進みます。

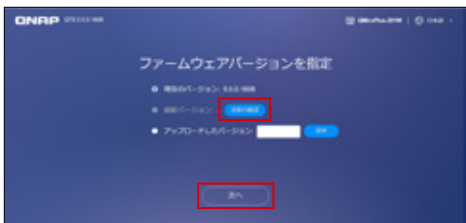


- 2)
「スマートインストールガイド開始」ボタンをクリックします。



- 3) 本製品をご使用いただくにあたり、左記の条項および条件にご同意いただく必要がございます。ご確認ください。次の画面へ進んでください。次の画面へ進みセットアップを完了した場合は、こちらの条項および条件にご同意いただいたものとさせていただきます。

※先の条項および条件にご同意いただけない場合は、本製品をご使用いただくことはできません。



- 4) インターネットに接続されている場合は、「更新の確認」ボタンでより最新のファームウェアが存在するか確認できます。より新しいバージョンがある場合は、新しいバージョンを指定してインストールすることができます。インストールするバージョンを選択した後「次へ」ボタンで次へ進みます。

★ TIPS :「ファームウェア」とは？

「ファームウェア」とは、QNAP の様々なパーツ(メモリ、ファン、電源ユニットなど)を制御するソフトウェアの総称です。「ファームウェア」には、「オペレーティングシステム(OS)」が含まれます。QNAP ユーザの皆様は、この OS を使って QNAP のサービスやアプリケーションを操作します。



- 5) [NAS の名前と管理者パスワードを入力]

下記の項目を設定します。

- NAS の名前 :
14 文字までの半角英数字。記号は '-' (ダッシュ) のみ。
- 管理者 ユーザー名 :
- パスワード / パスワードの確認 :
8 文字以上で半角英数字の混合。
(記号や仮名漢字も半角英数字と併用可能。)

※ QTS 5.0 未満ではユーザ名 admin は変更できません。

入力を終えたら「次へ」ボタンをクリックします。

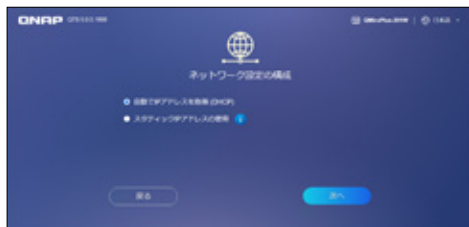


- 6) [日付と時刻の設定]

下記の項目を設定します。

- タイムゾーン : お住まいの地域を選択します。
- 日付 / 時刻 : いずれか1つを選びます。
 - コンピューター / デバイスと同じ
 - 手動入力
 - インターネットタイムサーバー同期

入力を終えたら「次へ」ボタン をクリックします。



7) [ネットワーク設定の構成]

下記の項目を設定します。
いずれか1つを選びます。

- ・ 自動で IP アドレスを取得 (DHCP) :
QNAP と同一ネットワークに DHCP サーバーが必要です。
- ・ スタティック IP アドレスの使用 :
固定 IP を設定したい場合に選択します。IP アドレスは、ご利用のネットワーク環境に合わせて入力します。
入力を終えたら「次へ」ボタンをクリックします。



8) [概要]

これまでの設定の確認画面です。
変更をしたい場合は、各項目の [編集] ボタン
をクリックして変更することができます。
確認が完了したら、「適用」ボタンをクリックします。

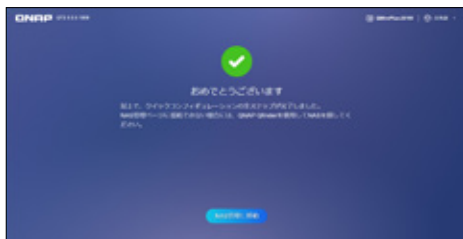


- 9) ドライブデータが消去されるという 確認画面が表示されます。
問題がなければ「はい」ボタンをクリックします。



- 10) 初期設定の適用中は、QNAP 製品の機能紹介ページが表示されます。

初期設定が完了するまで待ちます。
システムやハードディスクの容量に
よりますが、5分～10分程度かかります。

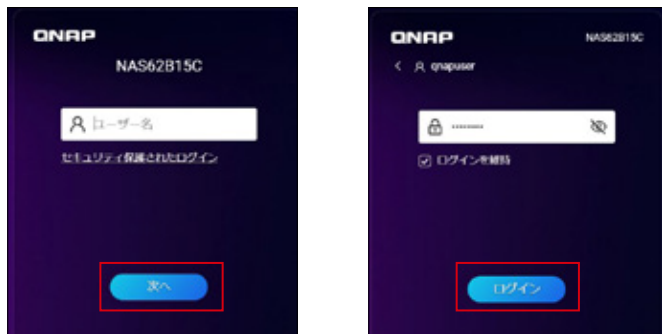


- 11) 初期設定の完了です。
「NAS 管理に移動」ボタンをクリックして、
NAS 管理画面に進みます。

1.6 QNAP の Web 管理画面にアクセスしよう

ウェブブラウザで QNAP の 管理画面にアクセスできたら、スマートインストール(P4 の 1-5.5) で設定した管理者ユーザ名とパスワードでログインを試みましょう。アカウントを入力後「次へ」押してパスワード入力後「ログイン」する。

※本ガイドでは「admin」ユーザーとして説明をいたします。



以下のようなデスクトップ画面が表示できたら、ログイン成功です。



主な QNAP 管理画面アイコン



コントロールパネル

「コントロールパネル」は、QNAP 全体の機能設定をおこないます。例えば、サーバ名や時刻などのシステム設定、共有フォルダやユーザなどの権限設定、ネットワーク、アプリケーションの設定、など。



App Center

「App Center」は、QNAP にアプリケーションをインストールしたりアンインストールする時に使います。無料のものもたくさんあるので、お気に入りのアプリケーションを探してください。



File Station

「File Station」は、NAS に保存されているフォルダやファイルへのアクセス、ファイルのアップロードやダウンロードが可能です。



ヘルプセンター

「ヘルプセンター」は、QNAP 製品の設定方法や何かトラブルが発生した場合に役立つ情報が満載です。QNAP のヘルプデスクに問い合わせることもできます。



「ストレージ&スナップショット

「ストレージ&スナップショット」は、ハードディスクや保存領域を一元管理します。RAID の作成管理も行います。スナップショットは、ある時点でのデータを短時間で記録、復元できる便利なツールです。



myQNAPcloud

「myQNAPcloud」は、NAS へのリモートアクセスをより簡単かつ安全にします。ファイルのアクセスおよび共有のために、USBドライブの利用に代わってプライベートクラウドが常にオンの環境を提供します。

2. QNAP にデータを保存しよう

NAS(Network Attached Storage)製品である QNAP は、ネットワーク上のファイルサーバとして利用することでその真価を発揮します。初期設定を終えたら、次に QNAP にデータを保存するための“入れ物”を作成しましょう。以下の3ステップの手順で進めていきます。

2-1. ストレージプールの作成

2-2. ボリュームの作成

2-3. 共有フォルダの作成

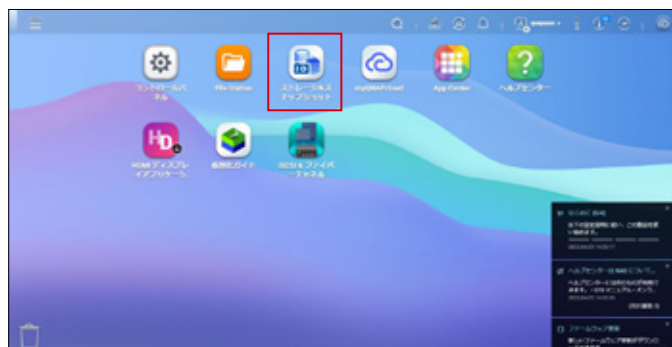
2.1 ストレージプールを作成しよう

始めに「ストレージプール」を作成します。「ストレージプール」とは、複数のハードディスクの集合体です。複数のハードディスクを束ねることで、より多くの保存領域を作成したり、読み書きスピードを向上させたり、また1台のディスクが壊れても他のディスクからデータを救出できる冗長化構成を作成することができます。このように複数のハードディスクを束ねて利便性や安全性を高める構成を RAID と呼びます。RAID は「ストレージプール」の重要な機能の1つです。

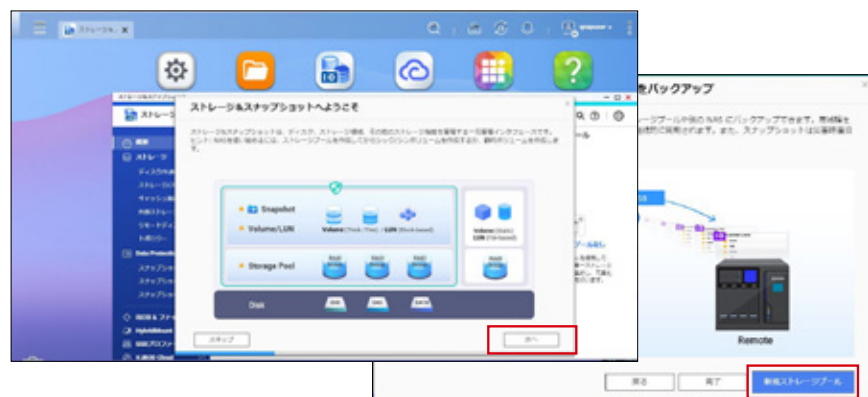
※ 各 RAID の詳細については、以下のサイトをご覧ください

<https://www.qnap.com/solution/raid-management/ja-jp/>

1) 「ストレージ&スナップショット」をクリックします。



2) 「ストレージ&スナップショット」画面が開いたら、ストレージプールの紹介を確認して「次へ」をクリックして、最後に新規ストレージプールをクリックします。





- 3) [はじめに]
「開始」ボタンをクリックします。

4) [プール機能を設定]

Qtier/SED を設定できる。(一般使用であれば両方共無効のままが良いです)

Qtier は、同時階層化と SSD キャッシングに対応しています。このモードでは、Qtier は常時 I/O アクティビティを監視し、自動的に階層間でデータを移動しつつ、SSD 読み込み専用または読み書きキャッシュでランダム読み書き操作を必要とするアクティブなデータや、階層化ストレージでその他のデータを維持します。

SED(自己暗号化ドライブ)

自己暗号化ドライブ (SED) は、ドライブコントローラーに暗号化ハードウェアが組み込まれているドライブです。SED は、すべてのデータをそれがドライブに書き込まれる時に自動的に暗号化し、ドライブから読み出される時に復号化します。

「次へ」ボタンをクリックします。



5) [ディスク選択]

複数のディスクを使用する場合は、ここで RAID を作成します。

RAID タイプ

- ・ JBOD : 各ハードディスクの容量を束ねて、1つの大容量ディスクとして利用する。
- ・ RAID0, RAID1, RAID5, RAID6, RAID10

※ ディスクの本数によって利用できる RAID の種類が異なります。

・ RAID のスペアディスクにも「モード」の所から設置できる。

スペアディスクとは RAID でドライブが落ちた場合に自動的にスペアディスクを利用し、RAID の再構築を行います。

「次へ」ボタンをクリックします。



6) [設定]

「保証されたスナップショット領域の有効化」とは、ファイルやフォルダなどのデータを保存しておく機能です。保存した状態に簡単に戻ることができるため、誤った操作やデータの破損などの不具合が発生した場合でも、安心して復元することができます。スナップショットは、自動的にデータを保存することもできますし、手動で保存することもできます。既定値は 20 % です。

「アラートの閾値」とは、ストレージプールの容量が不足しないように指定%まで到達すると警告が発せられる仕組みです。NAS 筐体のステータス LED が赤くなったり、システムログに記録されます。メールサーバーの設定をすれば、メールで管理者に通知することもできます。既定値は 80 % です。

「次へ」ボタンをクリックします。



7) [要約]

内容を確認して「作成」ボタンをクリックします。

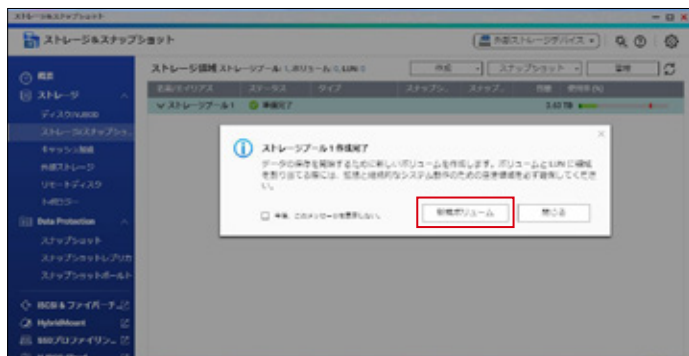


8) ディスク内のデータを消去しても問題がなければ「OK」ボタン をクリックします。

2.2 ボリュームを作成しよう

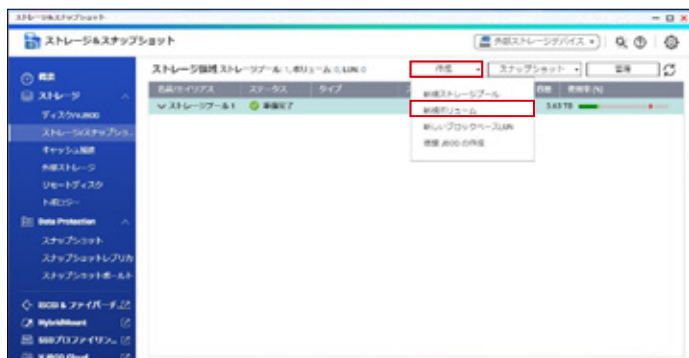
ストレージプールを無事に作成することができたら、次は「ボリューム」の作成を行います。ストレージプールは、水の入っていないプールのようなもので、まだすぐに使うことができません。水を入れ、ロープを浮かべてコースごとに仕切りを作り、利用できるようにするための準備が必要です。「ボリューム」とは、ストレージプール上に論理的な区分けをして、データを管理しやすくするための領域のことです。

- 1) ストレージプール作成直後、ボリューム作成を案内するポップアップが現れます。
すぐにボリュームの作成を開始したい場合は、「新規ボリューム」をクリックします。



※ 後で「ボリューム」を作成する時は、ストレージプール作成の際と同じようにデスクトップにある「ストレージ&スナップショット」を開き、左側のメニューから「ストレージ / スナップショット」を選択します。

- 2) 「作成」をクリックして、「新規ボリューム」をクリックして作成を開始してください。



「ボリューム作成ウィザード」が起動します。

3) [タイプを選択]

運用方法に合わせ3種類の中からボリュームの種類を選択します。

- ・ 静的ボリューム
(ストレージプールでは利用できない)
- ・ シックボリューム
- ・ シンボリウム(既定)

どどれを選んでよいか分からない場合は、シンボリウムをお勧めします。シンボリウムは、シンボリウム内のデータのサイズのみがプール領域に占有され、シンボリウムの空き領域はプール領域を占有しない。「次へ」ボタンをクリックします。



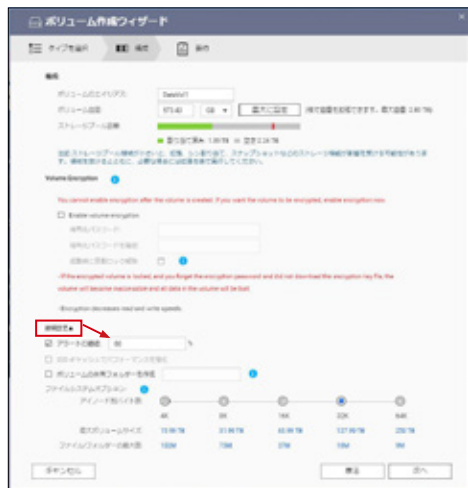
※ 各ボリュームの詳細については、以下のサイトをご覧ください

静的ボリューム (Static)、シンボリウム (Thin)、シックボリューム (Thick) の違いは何ですか？

4) [構成]

以下の項目を決めます。

- ・ ボリュームのエイリアス:
ボリュームに任意の名前をつきます。
- ・ ボリューム容量:
ストレージプールのサイズより小さいサイズにします。
作成後に空き容量に応じて小さくしたり大きくすることができます。
- ・ ボリュームを暗号化:
暗号化は、ボリューム作成時にのみ有効にすることができ、作成後に無効にはできません。
ボリュームを暗号化するには、暗号化パスワードを指定します。パスワードは忘れないようにしてください。パスワードをわすれてしまうと、そのボリュームのデータにはアクセスできなくなります。
- ・ ファイルシステムオプション:
アイノードの大きさを指定します。
(詳細が不明の場合は、既定のままにします。)



「詳細設定」には、ボリュームの構成を強化するオプションがあります。「次へ」ボタンをクリックします。



5) [スナップショット]

スナップショット起動設定(デフォルトオン)とスケジュールを確認後「次へ」ボタンをクリックしています。

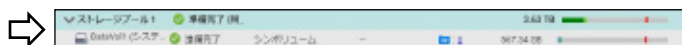


6) [要約]

内容を確認後「完了」ボタンをクリックしてボリュームを作成します。

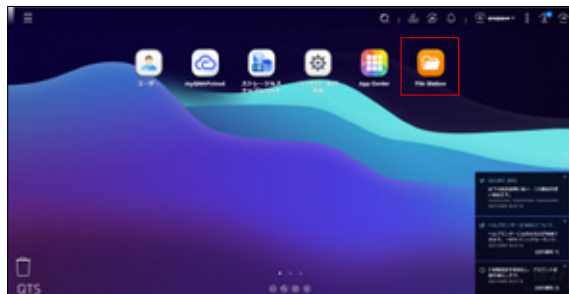


ボリュームの作成は、容量に応じて数分かかります。

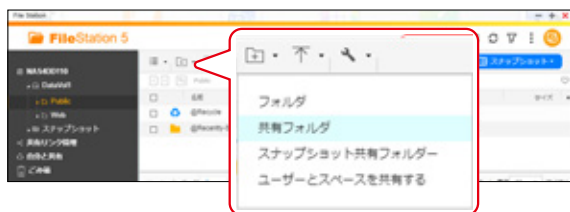


2.3 共有フォルダを作成しよう

これまでにストレージプール、ボリュームを作成することができました。最後に「共有フォルダ」を作成してデータを保存する”入れ物”の完成となります。「共有フォルダ」はアクセス権の設定ができるフォルダのことです。アクセス権を決めて制御したいファイルがある場合など、部署や役割ごとに別々の共有フォルダを作成すると便利です。



1) 「File Station」を開きます。

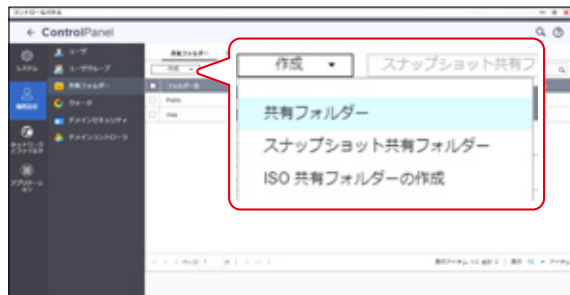


2) 共有フォルダアイコンをクリックして、「共有フォルダ」を選びます。



★ TIPS : 「共有フォルダ」を作成するその他の方法

「共有フォルダ」は、「コントロールパネル」から「共有フォルダ」を選んでも作成することができます。



共有フォルダーの作成

次のフィールドに入力して共有フォルダーを作成してください

フォルダー名: Qnap

コメント(任意):

ディスクのサイズ: Default (空きサイズ 2.46 TB)

共有権限: ☐ 共有権限の共有

パスワード: ☒ 自動的にパスワードを設定する ☐ 手動でパスワードを入力する

3)「共有フォルダーの作成」

フォルダー名を入力するだけで作成することができます。例として「Qnap」という名前のフォルダーを作成します。

共有フォルダーの作成

ユーザーのアクセス権限を設定する

ユーザー名	権限	許可	拒否	継承
admin	読み取り/書き込み	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
operator	読み取り/書き込み	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「フォルダーのアクセス権限」を設定します。

共有フォルダーの作成

プロパティ

テストのアクセス権: アクセス権

- ☐ ネットワークドライブの検索
- ☒ ファイルのロック (exclusive)
- ☒ 共有権限
- ☒ Windows の公開のバージョン (機能を実能にする)
- ☐ ネットワークドライブを無効にする
- ☐ 読み取り専用。読み取り専用のアクセスを無効にする
- ☐ この共有フォルダーで共有を無効にする
- ☐ アクセスベースの共有を無効にする (SMB)
- ☐ アクセスベースの共有を無効にする (NFS)
- ☐ True Master バックアップフォルダー (rsync) として、このフォルダーを設定する

「フォルダー暗号化」

フォルダー暗号化したい場合、「暗号化」をクリックしてパスワード入力して設定します。設定後フォルダーごとでロック掛けられます、ロック掛けたら解除する度パスワードの入力が必要となります。

#暗号化パスワードを忘れた場合、フォルダーにアクセスできなくなり、すべてのデータを失われます。

#暗号化は、フォルダーの読み取りおよび書き込み速度を低下させます。

オプションを確認して、「作成」をクリックします。

4) 作成されたフォルダーを確認します。

File Station

FileStation 5

NAS400110

- DataVault
 - Public
 - Qnap**
 - Web
- スナップショット

名前	更新日時	タイプ	サイズ
@Recently-Snapshot	2020/12/08 02:25:58	フォルダ	
@Recycle	2020/12/08 02:25:57	フォルダ	

★ TIPS : 「共有フォルダ」と「フォルダ」の違い

P11 の 2-3.2) で「共有フォルダ」を選択しました。一方で、「フォルダ」は、「共有フォルダ」と違い、通常、アクセス権を付けることはできず、フォルダ名しか入力するところがありません。「フォルダ」は「共有フォルダ」の中に作成して使用します。

フォルダ

- 共有フォルダ
- スナップショット共有フォルダー
- ユーザーとスペースを共有する



フォルダの作成

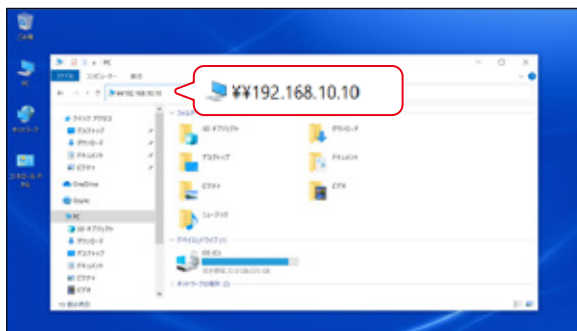
フォルダ名:

OK キャンセル

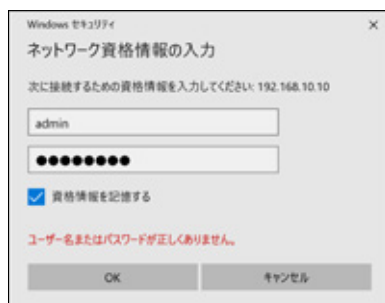
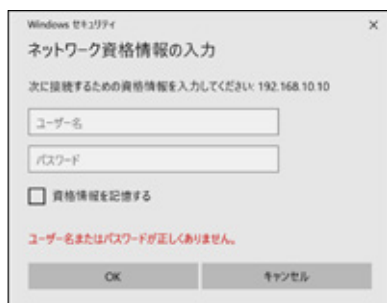
2.4 共有フォルダにアクセスしよう (Windows 編)

作成した共有フォルダに Windows 10 からアクセスしてみましょう。
QNAP の IP アドレスは 192.168.10.10 と設定したことにします。

- 1) Windows File Explorer のアドレスバーに ¥¥192.168.10.10 と入力。
先頭の ¥¥ (; 半角 \ マークを2つ連続) を忘れないようにしてください。

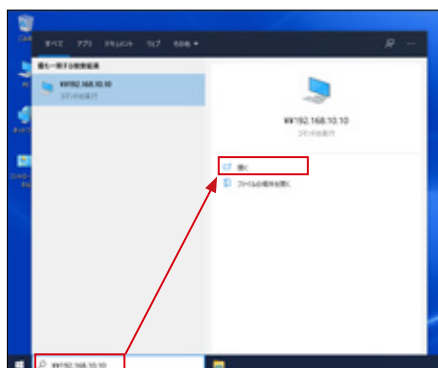


- 2) 「ネットワーク資格情報の入力」画面が表示されたら 管理者ユーザーの情報を入力しましょう。
管理者ユーザー名、パスワードは、P4 の 1-5.5) で設定したものです。
次回からユーザ名とパスワードの入力を省略したい場合は、「資格情報を記憶する」をチェックします。
入力が終わったら「OK」ボタンを押します。



★ TIPS : QNAP にアクセスするその他の方法

Windows スタートボタンの隣の「ここに入力して検索」に \\192.168.10.10 と NAS の IP アドレスを入力しても共有フォルダにアクセスすることができます。
表示されたアイコンを選択して、「開く」をクリックします。

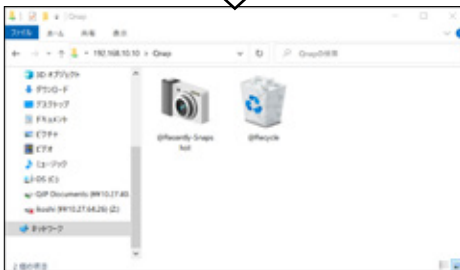


- 3) QNAP に接続することができると P11 の 2-3. で作成したフォルダが現れます。
フォルダにアクセスできることを確認します。



QNAP フォルダをクリックすると

※ ボリュームを新規作成時にいくつかの共有フォルダが自動で作成されます。左の図では「Public」、「Web」が自動作成された共有フォルダです。
他にも、「Download」、「home」など、アプリケーションや構成によって自動作成される共有フォルダがあります。



内部が開きます。

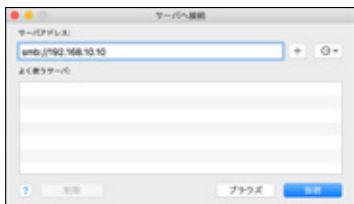
※ 新規に作成された共有フォルダの中には「@Recycle」と「@Recently-Snapshot」の2つのフォルダが自動作成されます。それぞれ「ネットワークごみ箱」と「スナップショット」の機能に利用されるフォルダです。

2.5 共有フォルダにアクセスしよう (Mac 編)

QNAP に Mac PC からアクセスすることができます。
QNAP の IP アドレスは 192.168.10.10 と設定したことにします。



- 1) Finder から「移動」->「サーバーへ接続」を選択します。



- 2) 「サーバーへ接続」ウィンドウが表示されます。
QNAP の IP アドレスを使って以下のように入力します。
「サーバアドレス」: smb://192.168.10.10
先頭の smb:// を忘れないでください。

「接続」ボタンをクリックします。



3) 接続中 ...

「接続」ボタンをクリックします。

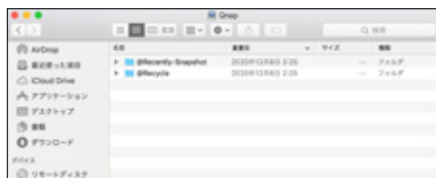


4) ログイン情報を入力します。
ここでは 管理者ユーザーアカウントを使用します。
管理者ユーザー名、パスワードは、P4 の 1-5.5) で設定したものです。

- ・ ユーザの種類 : 登録ユーザ
- ・ 名前 : admin
- ・ パスワード : { ***** }



5) 「Qnap」フォルダを選択します。
「OK」ボタンをクリックします。



6) 接続完了。



★ TIPS:「共有フォルダ」にアクセスするその他の方法
「Qfinder Pro」がインストールされている PC ならば、「ネットワークドライブ」から QNAP の共有フォルダに接続することができます。

3. QNAP にアクセス権を作成しよう

QNAP を使用するユーザやグループを作成して、共有フォルダに対してアクセス権をつけてみましょう。
共有フォルダにアクセス権を付けることでユーザに対してファイルの閲覧や編集を制御することができます。

3.1 ユーザを作成しよう

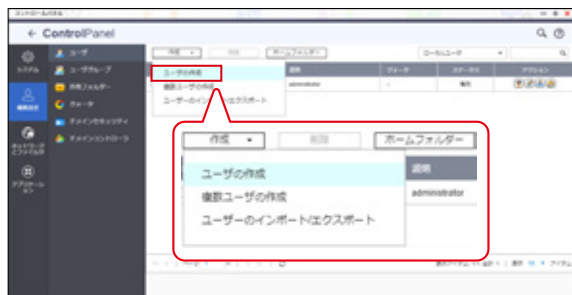
1) 「コントロールパネル」から「ユーザ」を開きます。



今はまだスマートインストールガイドで設定した 管理者ユーザー アカウント しかありません。



2) 「User1」「User2」「User3」という3つのユーザを作成しましょう。
「作成」ボタンから「ユーザの作成」を選びます。



2) 「ユーザの作成」画面が開きます。まず「User1」ユーザを作成しましょう。
少なくとも上記3項目を入力すれば、ユーザを作成することができます。

- ・ ユーザ名 : User1
- ・ パスワード : { ***** }
- ・ パスワードの再入力 : { ***** }

※ パスワードルール
8 文字以上で半角英数字の混合。
(記号や仮名漢字も半角英数字と併用可能。)

ここでフォルダへのアクセス権を設定することもできますが、アクセス権の付与はあとで行います。

3) 続けて 2) と同様に「User2」ユーザと「User3」ユーザを作成しましょう。
完成すると以下の画像のように3つのアカウントが一覧表示されます。

ID	ユーザ名	グループ	ステータス	パスワード	アクション
1	User1	administrator	有効	*****	編集 / 削除
2	User2		有効	*****	編集 / 削除
3	User3		有効	*****	編集 / 削除

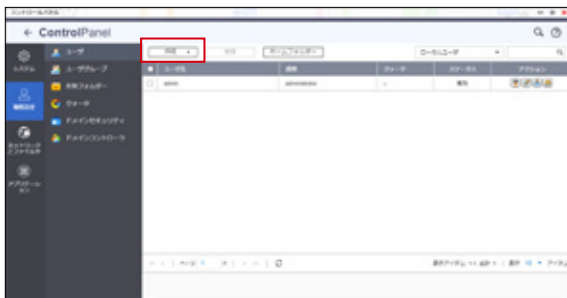
3.2 ユーザグループを作成しよう

役職や部署、クラスなど、特定のグループをひとまとめにしたアクセス権管理には、「ユーザグループ」が便利です。「GroupA」ユーザグループを作成して、P16 の 3-1. で作成した3つのユーザのうち「User1」と「User2」の両ユーザを「GroupA」ユーザグループに参加させてみましょう。

1) 「コントロールパネル」から「ユーザグループ」を開きます。



2) 初期の状態では「administrators」と「everyone」の2つのユーザグループがあります。



「作成」ボタン をクリックします。

3) 「ユーザグループの作成」画面が開きます。「GroupA」というユーザグループを作成しましょう。



・ ユーザグループ名 : GroupA

「このグループにユーザを割り当てる」から「編集」ボタンをクリックします。

ユーザグループの作成

次のフィールドに入力してユーザグループを作成してください

ユーザグループ名: GroupA

説明:

このグループにユーザを割り当てる

閉じる

	ユーザ名
<input type="checkbox"/>	admin
<input checked="" type="checkbox"/>	User1
<input checked="" type="checkbox"/>	User2
<input type="checkbox"/>	User3

作成 キャンセル

- 3) ユーザのリストが表示されるので、「User1」と「User2」の両ユーザを選択して、「GroupA」ユーザグループに追加します。

「閉じる」ボタンをクリックします。

ユーザグループの作成

次のフィールドに入力してユーザグループを作成してください

ユーザグループ名: GroupA

説明:

このグループにユーザを割り当てる

閉じる

User1, User2

共有フォルダー権限を編集する

共有フォルダー権限がまだこのグループに設定して設定されていません

作成 キャンセル

- 4) 「共有フォルダー権限を編集する」から「編集」ボタンをクリックします。

ユーザグループの作成

次のフィールドに入力してユーザグループを作成してください

ユーザグループ名: GroupA

説明:

このグループにユーザを割り当てる

閉じる

User1, User2

共有フォルダー権限を編集する

共有フォルダー

フォルダ名	フルパス	RO	RW	Deny
Public	アクティブ権限	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Group	アクティブ権限	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Web	アクティブ権限	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

作成 キャンセル

- 5) 共有フォルダのリストが表示されます。選択できる権限は以下の3種類です。
- ・「RO」(Ready Only) : 読み取り専用
 - ・「RW」(Read Write) : 読み取り / 書き込み
 - ・「Deny」: アクセス拒否

作成したばかりの「GroupA」ユーザグループは、どのフォルダに対しても「アクセス拒否」になっています。

ユーザグループの作成

次のフィールドに入力してユーザグループを作成してください

ユーザグループ名: GroupA

説明:

このグループにユーザを割り当てる

閉じる

User1, User2

共有フォルダー権限を編集する

共有フォルダー

フォルダ名	フルパス	RO	RW	Deny
Public	アクティブ権限	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Group	読み取り専用のみ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Web	アクティブ権限	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

作成 キャンセル

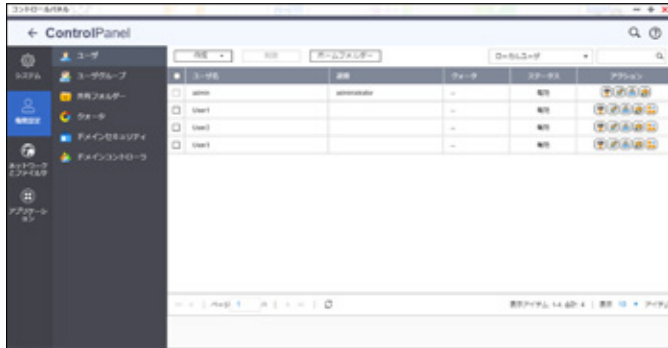
- 6) 「Qnap」フォルダに「RW」権限を付けてみましょう。「RW」のところにあるチェックを付けます。

「作成」ボタンをクリックします。

3.3 アクセス権を編集しよう

アクセス権の設定をまだしていない「User3」ユーザに「Qnap」フォルダへの「RO」(読み取り専用)権限を付けてみましょう。

1) P16 の 3-1.1) と同じ方法で「ユーザ」を開きます。



2) 「User3」ユーザの「共有フォルダー権限の編集」ボタン(🔑)を押して共有フォルダーの権限を編集します。



「User3」ユーザの各フォルダに対する現在のアクセス権を確認します。



以下のように権限を編集してみましょう。

「Public」フォルダ：「RW」(読み取り／書き込み)
「QNAP」フォルダ：「RO」(読み取り専用)

なお、「Web」は「Deny」(アクセス拒否)のままにしておきます。

設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

★ TIPS : ユーザの設定変更の種類



パスワードの変更 : ユーザのログインパスワードの変更。



アカウントプロフィールの編集 : ユーザのメールや電話番号などユーザ情報の変更やアカウントの無効化など。



ユーザグループの編集 : ユーザをユーザグループに追加や削除などを行う。



アプリケーション権限の編集 : アプリケーションごとにユーザの利用可否を決める。

3.4 アクセス権を確認しよう

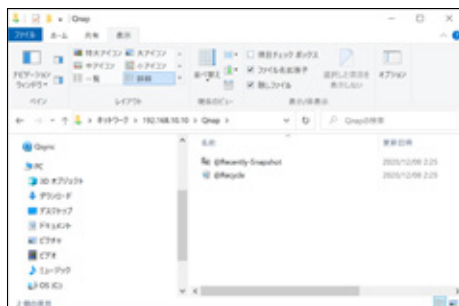
P16 ~ P20 で設定したユーザやユーザグループのアクセス権が正しく機能しているか確認をしましょう。

- 1) 管理者 PC から QNAP にアクセスして、P13 ~ P15 を参考に「User1」ユーザでログインします。
「User1」ユーザは「GroupA」ユーザグループに属しているので、「Qnap」フォルダには「RW」（読み取り書き込み）権限があることを確認します。

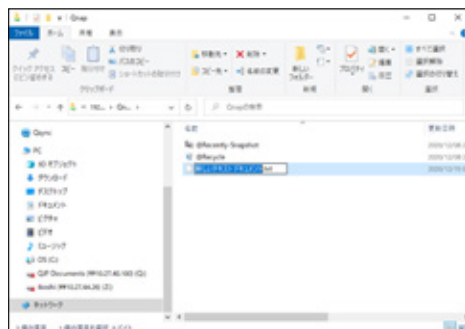
※ 以前に 管理者ユーザで管理者 PC にログインしたことがある場合は、事前に PC を再起動してください。
他のユーザの権限が PC に残っていると利用したいユーザの権限に影響を及ぼす可能性があります。



「Qnap」フォルダをクリックして、



内部を開くことも、



ファイルの作成や作成したファイルを
消去することもできるか確認しよう。

同様に「User2」ユーザのアクセス権も確認しましょう。
「User2」ユーザは「User1」ユーザと同じ「GroupA」ユーザグループに属しているので、「Qnap」フォルダに対して同じ権限を持っているか確認します。

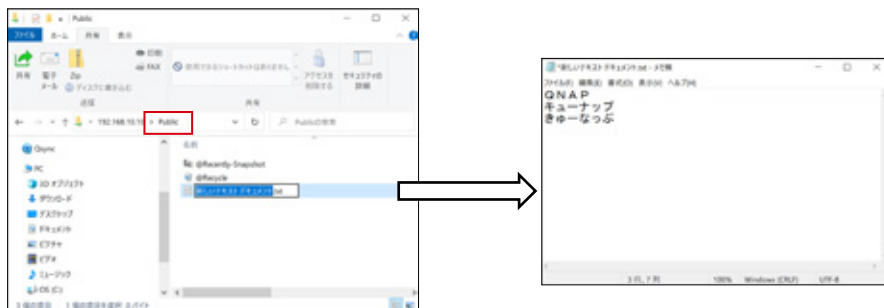
- 2) 次に「User3」ユーザのアクセス権を確認します。
1)と同様に管理者 PC から QNAP にアクセスして、今回は「User3」ユーザでログインします。

※ 以前に 管理者ユーザで管理者 PC にログインしている場合は、事前に PC を再起動してください。
他のユーザの権限が PC に残っていると利用したいユーザ の権限に影響を及ぼす可能性があります。

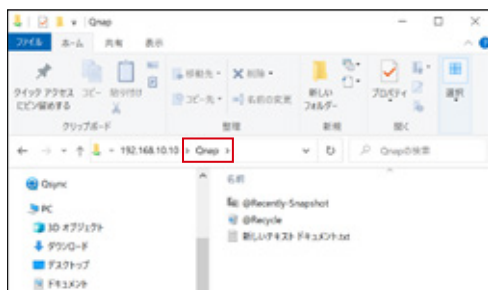
「User3」ユーザのアクセス権は、P20 の 3-3.2) で以下のように設定しました。

- ・「Public」フォルダ：「RW」(読み取り / 書き込み)
- ・「Qnap」フォルダ：「RO」(読み取り専用)
- ・「Web」フォルダ：「Deny」(アクセス拒否)

「Public」フォルダの場合、フォルダ内のファイルの作成及び閲覧、編集や保存、ファイルの削除はファイル名の変更などができます。



「Qnap」フォルダの場合、フォルダ内のファイルの閲覧はできるもののファイルの作成や削除はできません。



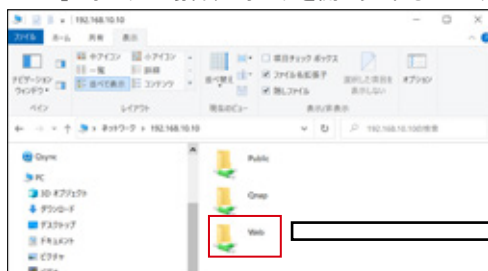
ファイルを作成しようとすると、、、



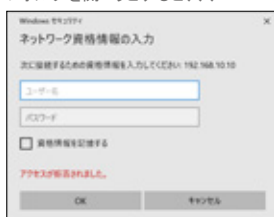
ファイルを削除しようとすると、、、



「Web」フォルダの場合、フォルダを開こうとするとログイン情報を求められ、開くことができません。



フォルダを開こうとすると、、、



4. QNAP にリモートアクセスしよう

QNAP には、インターネット環境があれば、デパート、レストラン、ホテル、駅、空港、世界中のどこからでもリモートアクセスできる便利な機能が搭載されています。リモートアクセスの設定を行い、実際に外出先から QNAP にアクセスしてみましょう。

※ リモートアクセス機能は、インターネット上のサービスのためご利用にあたりアカウント情報の取扱いには十分ご注意ください。

4.1 QNAP アカウントを作成しよう

リモートアクセスするためには、まず「QNAP ID」または「QID」と呼ばれる QNAP 専用のアカウントを作成します。「QNAP ID」はリモートアクセス以外にも QNAP 社の便利で豊富なオンラインサービスを使用する際にも使用します。作成後は忘れないようにしてください。

以下の URL にアクセスします。

QNAP 社ホームページ(QNAP のアカウント): <https://account.qnap.com/signin>



- 1) 「QNAP Account」の Web サイトが表示されます。「今すぐサインアップ」をクリックして、新規アカウントの作成を開始します。

- 2) 「QNAP ID」作成に必要な情報を入力します。

- ・ ニックネーム
- ・ 電子メールアドレスまたは電話番号
- ・ パスワード

利用規約を読み、チェックを入れて「サインアップ」ボタンをクリックします。



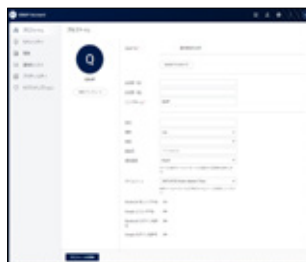
- 3) プライバシーに関する注意事項を読み、「同意します」をクリックします。

メールアドレスまたは SMS にアクティベーションコードが通知されるので、指示に従いアクティベートします。



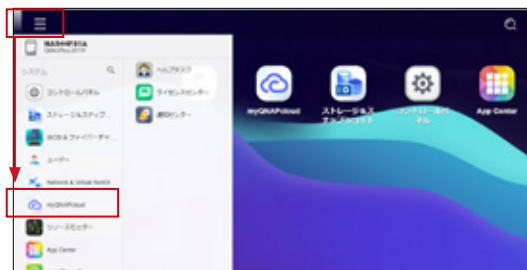
- 4) アクティベーションを終えたら、「QNAP Account」の Web サイトにログインできるか確認します。

ログインが成功すると、他の情報の入力や設定を行うことができます。



4.2 MyQNAPcloud を設定しよう

QNAP の管理者用 Web 画面にログインをして「MyQNAPcloud」の設定を行います。
「MyQNAPcloud」とは、複数の QNAP を弊社のクラウド接続サービス上で一元管理する機能のことです。



- 1) メインメニューボタンから
「MyQNAPcloud」を選択します。



- 2) 「MyQNAPcloud」が起動したら、
「使用開始」ボタンをクリックします。



- 3) 「myQNAPcloud にようこそ」画面が開きます。
「開始」ボタンをクリックします。



- 4) P23 の 4-1. で作成した QNAP ID とそのパス
ワードを入力して、「次へ」ボタンをクリックします。



- 5) QNAP の「デバイス名」を決めます。
「デバイス名」はインターネットで利用するので、他の利用者の含め「myQNAPcloud」サービス上、唯一無二の名前でなくてはなりません。

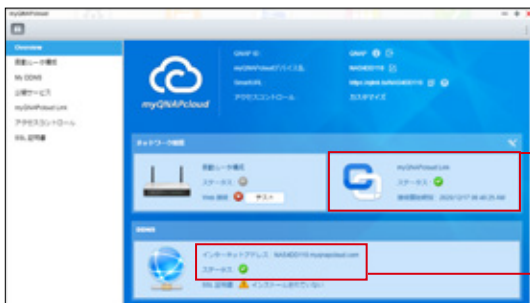


- 6) デバイスの設定をします。
ここでは既定の設定のまま「次へ」をクリックします。

※ 「myQNAPcloud によろこ」の完了後、各設定は変更することができます。



- 7) 設定を終えたら、「完了」ボタンをクリックします。



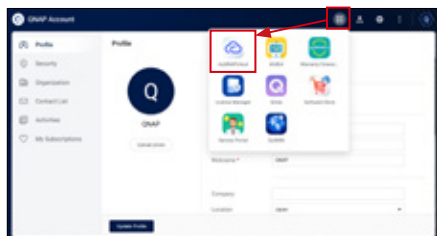
- 8) 正しく「myQNAPcloud」が設定されたことを確認します。


ネットワーク接続：
ステータスが になっている。

DDNS：
インターネットアドレスができています。
ステータスが になっている。

4.3 QNAP にリモートアクセスしよう


外出先にインターネット環境があれば、QNAP Account (<https://account.qnap.com/signin>) にログインして「myQNAPcloud」にアクセスしてみましょう。P24 ~ P25 の 4-2. で設定をした QNAP が登録されていることを確認します。



- 1) QNAP Account にログイン後、 ボタンから「myQNAPcloud」を選択します。



- 2) 「myQNAPcloud」のページが開いたら、設定した QNAP が登録されていることを確認します。

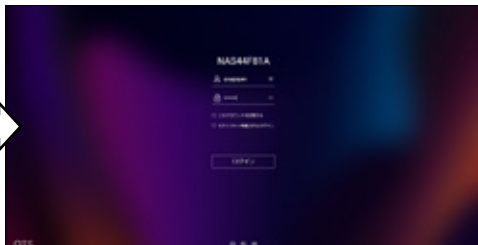
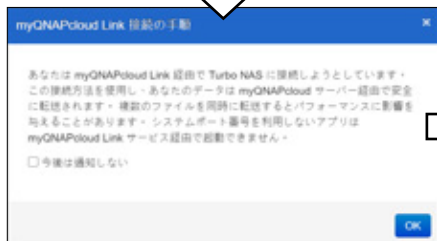
 ボタンをクリックすると QNAP のログイン画面にアクセスできます。



※ 複数の QNAP を登録した場合以下の図のようにデバイスがリスト表示に変わります。



- 3) QNAP の 管理者用 Web 画面が開くので、ログインできるか確認します。



★ TIPS : 「myQNAPcloud」にアクセスするその他の方法

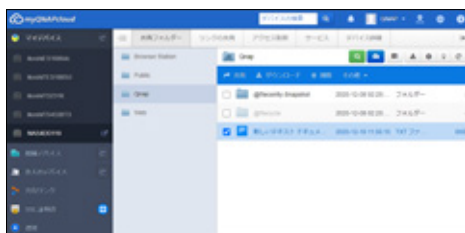
「myQNAPcloud」に直接アクセスできるリンク:<https://www.myqnapcloud.com/home?lang=ja>

4.4 外出先からファイル进行操作しよう（PC 編）

「myQNAPcloud」を利用すると QNAP に保存されているファイルのダウンロードや、QNAP にファイルをアップロードすることができます。



1) 「共有フォルダー」を選び、QNAP のユーザー名とパスワードを入力してログインをします。



2) ファイルを選択してダウンロード、または PC からアップロードすることができます。

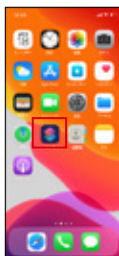
 /  : ファイルのアップロード / ファイルのダウンロード

4.5 外出先からファイル进行操作しよう（スマホ 編）



スマホ用に QNAP を操作する様々なアプリがあります。その中でも外出先から QNAP 上のファイル进行操作できる「Qfile Pro(Qfile)」を紹介します。

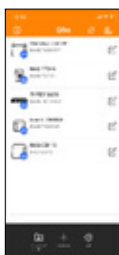
4-5-1. iPhone の場合



1) 「Qfile Pro(Qfile)」を App Store からダウンロードして、インストールします。

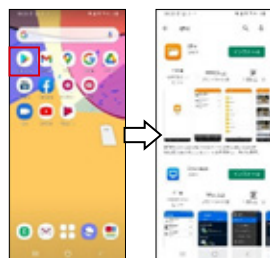


2) 「Qfile Pro(Qfile)」を起動し、「設定」から QNAP ID でサインインをします。



3) サインインに成功すると、登録されている QNAP の一覧が表示されます。操作したい QNAP を選択して、ファイル进行操作します。

4-5-2. Android の場合



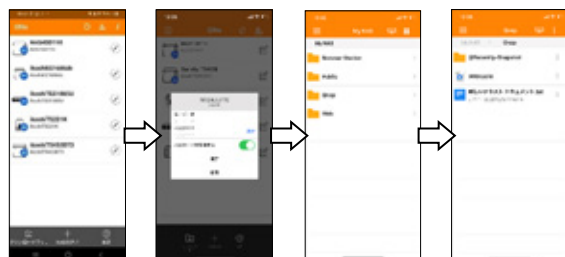
1) 「Qfile」を Play ストア からダウンロードして、インストールします。



2) 「Qfile」を起動すると初期設定画面が現れます。
 ・リージョン：
 グローバル／中国
 日本でお使いの場合は、グローバルを選択します。
 ・プライバシー：
 「ユーザ情報の保護に同意する」の内容をご理解の上、
 「はい」を選択して「完了」ボタンをクリック。
 Android Phone 内のデータへのアクセス許可を
 求められるので「許可」を選択します。



3) 「Qfile」から QNAP に接続します。
 「サインイン QNAP ID」を選び、QNAP ID でログイン
 します。



4) サインインに成功すると登録されている QNAP の一覧が表示されます。操作したい QNAP を選択して、
 ファイルを操作します。

★ TIPS : 豊富な QNAP モバイルアプリ

Qfile 以外にも多彩で便利なモバイルアプリがたくさんあります。お気に入りの1つを探してみてください。

例)



・Qphoto/Qvideo :
 QNAP に保存されている画像 / 動画の視聴や
 管理。



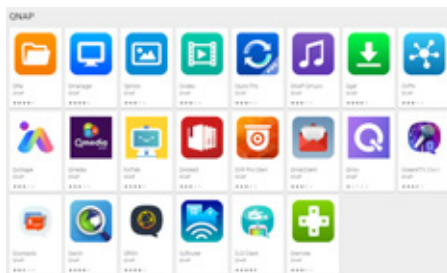
・QVR Pro Client :
 QNAP に接続された監視カメラの視聴や管理。



・Qmanager :
 QNAP の設定や利用状況の監視や管理。



・QVPN : NAP に VPN で接続。



5. QNAP のバックアップ機能を使おう

QNAP はその利用用途に合わせ豊富なバックアップ機能を備えています。その幾つかをご紹介します。

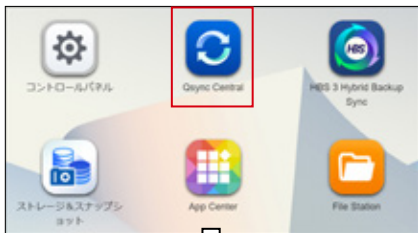
5.1 PC のデータを QNAP にバックアップしよう

PC がもし突然壊れたら、もし紛失してしまったら、もし盗難にあったら。いずれのケースも大切なデータを失ってしまう恐れがあります。そんな時に備えて、PC に保存してある大切なデータを QNAP にバックアップしておきましょう。

5-1-1. QNAP に Qsync Central の設定

QNAP に「Qsync Central」を設定をします。「Qsync Central」は、PC 側に設定した「Qsync」と連動して、PC 側のデータを QNAP 側へリアルタイムで同期するアプリです。即ち、バックアップのスケジュールをしなくても、データの作成／変更／削除などを行うとすぐに QNAP 側にも反映されます。（厳密には、双方向の同期なので、QNAP 側のデータを編集すると PC 側のデータにも同期されます。）

※ もし既定で「Qsync Central」が QNAP にインストールされていない場合は「Apps Center」からインストールしてください。



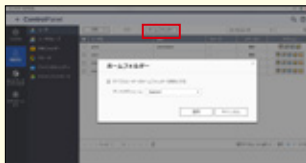
- 1) 「Qfile」を Play ストア からダウンロード して、インストールします。



※ もし「停止しました」というメッセージが表示された場合



「コントロールパネル」→「ユーザ」の「ホームフォルダ」を有効にしてください。



- 2) 「共有フォルダ」を開き、PC のデータのバックアップの置き場所となるフォルダを選択します。

5-1-2. 管理 PC に Qsync を設定

管理用 PC に「Qsync Client」アプリをインストールして、バックアップしたいフォルダを「Qsync Central」にコピーする設定を行います。以下の QNAP 公式ホームページから「Qsync」をダウンロードしてください。



QNAP 社ホームページ(ユーティリティ): <https://www.qnap.com/ja-jp/utilities/essentials>

インストールが完了したら、「Qsync Client」を起動して、設定を開始しましょう。



- 1) 「NAS の検索」からいずれかの方法でバックアップの置き場所となる QNAP を選択します。
 - ・ LAN で: QNAP が管理 PC と同じネットワークにある場合。
 - ・ QID で: QNAP が遠隔地などインターネットを超えた場所にある場合。



- 2) バックアップの保存先となる QNAP を選び、「選択」ボタンをクリックします。



- 3) QNAP のログイン情報と識別名を入力して、「適用」のボタンをクリックします。

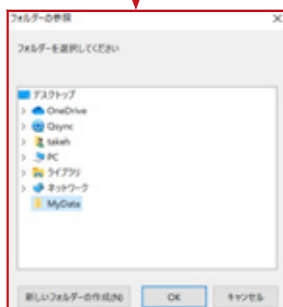


- 4) QNAP 上のフォルダと PC 上のフォルダをペアリングします。



5) QNAP 上のフォルダと PC 上のフォルダをペアリングします。

- ・ QNAP 上のフォルダ : {ここでは「Qnap」}
 - ・ PC 上のフォルダ : {ここでは「MyData」}
- ペアリングするフォルダを選んだら「適用」ボタンをクリックします。



6) ペアリングしたフォルダを確認します。

問題がなければ「終了」ボタンをクリックします。



7) すぐに同期が開始します。

「すべてのファイルが最新」というメッセージが表示されると同期の完了です。QNAP 側と PC 側のデータが同じ内容になっているか確認するようにしてください。



バックアップ元のフォルダは「Qsync」を使っていることが分かるようにアイコンの形が変わります。

5.2 QNAP のデータを外付けディスクにバックアップしよう

複数のディスクを冗長化している QNAP ならば、例えばディスクの1枚が壊れてしまってもデータの損失を防ぐことができます。しかし、もし QNAP 自体が壊れてしまったら大変です。そんな時に備えて、QNAP 自体のバックアップアプリも検討しましょう。

バックアップ先として、外付けの USB ディスク、他のストレージデバイス、クラウドサービスなど、選択肢がいくつかあります。QNAP にはいずれのバックアップ先も一元管理できる便利なバックアップアプリがあります。

5-2-1. HBS3 でバックアップ

1) QNAP 上に「HBS3」というバックアップアプリを設定をします。

※ もし既定で「Qsync Central」が QNAP にインストールされていない場合は「Apps Center」からインストールしてください。



2) 外付け USB ディスクを QNAP に挿入します。

今回は、バックアップ先として外付け USB ディスクを利用するようにします。

※ バックアップ先に、他の QNAP やクラウドサービスを利用したい場合は以下の URL を参考に設定を試みてください。

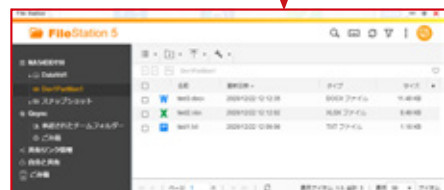
QNAP 社ホームページ (HBS3 チュートリアル):

<https://www.qnap.com/ja-jp/how-to/tutorial/article/hybrid-backup-sync>

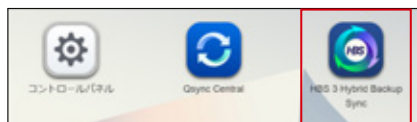
★ TIPS : 外付け USB ディスクの挿入



初めて外付け USB ディスクを挿入時は以下のような画面が表示されるので、QNAP に認識されていることが分かります。HBS3 がインストールされている場合、HBS3 のアイコンも表示されるので、ここから HBS3 を起動し、この外付け USB ディスクをバックアップ先として設定することができます。また、File Station を選択すると、外付け USB ディスクの内容にアクセスすることができます。



また、Web 管理画面左上の「接続された外部デバイス」アイコンから挿入した外付け USB ディスクが認識されたことを確認できます。



3) 「HBS3」を起動。



4) 「バックアップ＆復元」を選択。



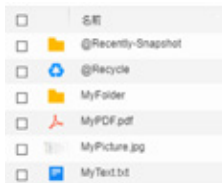
5) 「今すぐバックアップ」の中から「新しいバックアップジョブ」を選択。



6) [フォルダを選択 - 1]

バックアップをするフォルダを選択。

ここでは「Qnap」フォルダ
を選択します。内容は
左図のようになっています。



「次へ」ボタンをクリック。



7) [フォルダを選択 - 2]

バックアップの保存先を選択。

ここでは、外付け USB ディスクを使用するので
「ローカル NAS」を選択する。

「選択」ボタンをクリック。

★ TIPS : クラウドサーバの種類

HBS3 はデータのバックアップ先として一般のクラウドサーバーを利用することもできます。バックアップを手元の環境から離れた場所に保存することで、ディザスタリカバリ（災害対策）を実施することができます。





8) [フォルダを選択 - 3]

バックアップ先のデバイスやフォルダを選択。
ここでは外付け USB ディスクに保存するので、「外部デバイス」から「Dev1Part1」を選択する。
「OK」ボタンをクリック。



9) [フォルダを選択 - 4]

バックアップ元とバックアップ先それぞれのフォルダに誤りがないか確認。
変更が必要な場合は、変更箇所の [編集] ボタンをクリックして修正をする。
「次へ」ボタンをクリック。



10) [スケジュール]

バックアップジョブの実行するタイミングを設定する。ここでは、すぐにバックアップを取得したいので、
・「スケジュールなし」を選択。
・「今すぐバックアップ」にチェック。
スケジューラーを使えば、定期的に決まった時間に自動的にバックアップジョブを実行できる。
「次へ」ボタンをクリック。



11) [ルール]

詳細なバックアップのルールを決めることができる。
例)
・暗号化
・フィルター（バックアップ対象ファイルの選択）
・エラー通知
など。
「次へ」ボタンをクリック。

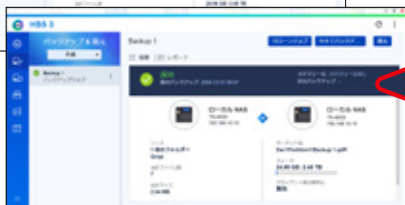


12) [要約]

最終確認。
問題がなければ「作成」ボタンをクリック。



13) バックアップジョブ開始。



バックアップジョブ成功。



成功

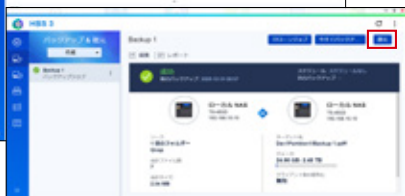
前のバックアップ: 2020-12-31 00:57

5-2-2. HBS3 で復元

外付け USB ハードディスクに取得したバックアップを QNAP に復元してみましょう。
HBS3 を起動して、バックアップが保存された外付け USB ディスクを挿入してください。



1) 「バックアップ & 復元」を選択します。



「復元」ボタンをクリックします。



2) [フォルダを選択 - 1]

バックアップの保存元フォルダと復元先フォルダを選択します。
予め保存先のフォルダ(「Qnap_Restored」)を作成しておきます。



「Qnap」フォルダを選択。



バックアップをしたデータの元々の保存場所の「Qnap_Restored」フォルダを選択。



3) [フォルダを選択 - 2]

バックアップの保存元フォルダと復元先フォルダの選択を終えたら、「次へ」ボタンをクリックします。



4) [スケジュール]

復元ジョブの実行するタイミングを設定します。
ここでは、すぐにバックアップを取得したいので、
・「スケジュールなし」を選択。
・「今すぐバックアップ」にチェック。
スケジューラーを使えば、定期的に決まった時間に自動的に復元ジョブを実行できます。

「次へ」ボタンをクリックします。



5) [ルール]

詳細なりカバリのルールを決めることができます。

- ・ ジョブポリシー
 - ・ エラー処理ルール
- など。

「次へ」ボタンをクリックします。



6) [要約]

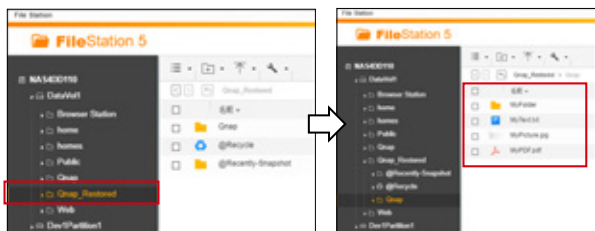
最終確認。
問題がなければ「復元」ボタンをクリックします。

7) 復元ジョブ開始。

復元ジョブ成功。



成功
前の復元: 2021-01-03 12:07
最新のバックアップ: 2020-12-31 13:15



8) 「Qnap_Restored」フォルダにデータが復元されたか確認しましょう。

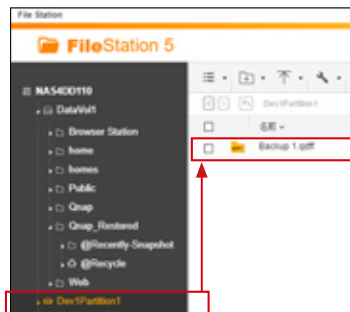
5-2-2. PC で復元

バックアップの保存先である外付け USB ディスクの内容を見ると「Backup 1.qdiff」のように QNAP 社独自の拡張子(.qdiff)を持つファイルが作成されている場合があります。これはバックアップ作成時に「QuDedup の使用」にチェックが入っていたためです。P34. 5-2-1.11) の設定箇所



※「QuDedup」は既定で有効になっています。チェックをはずすと生データがバックアップされます。

「QuDedup」は、バックアップサイズの縮小や転送スピードの向上を行うための技術です。「QuDedup」を使用するとバックアップしたデータは、そのままでは PC で読み取ることはできませんが、「QuDedup Extract Tool」を使えば、PC にもデータを復元することができます。

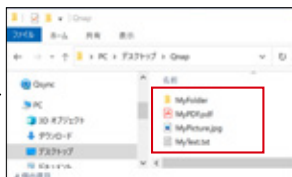
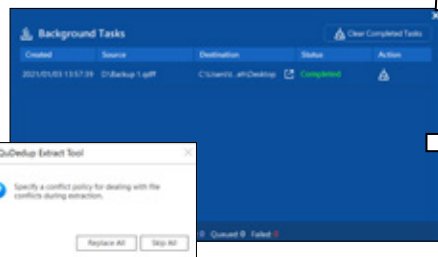
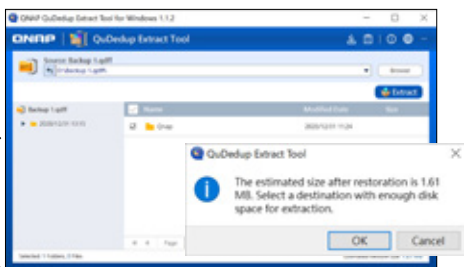
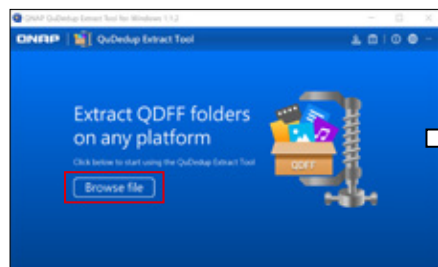


管理用 PC に「QuDedup Extract Tool」をインストールしてください。

QNAP 社ホームページ(ユーティリティ) :

<https://www.qnap.com/ja-jp/utilities/enterprise>

インストールが完了したら、「QuDedup Extract Tool」を起動して、設定を開始しましょう。PC にバックアップを取った外付け USB ディスクを挿入してください。

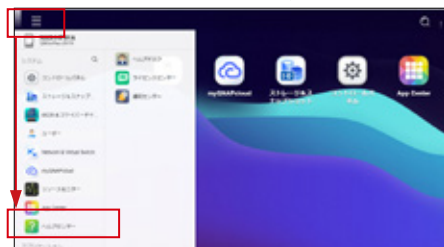


6. QNAP ヘルプデスクに問い合わせよう

QNAP を使用しているうちに疑問がわいたり、トラブルに見舞われるかもしれません。「ヘルプセンター」は、利用者皆さまのさまざまな疑問点やトラブルを解消するヒントが凝集している大変便利なアプリです。「QTS マニュアル」や「オンラインリソース」を参照しても答えが見つからない場合は、「ヘルプデスク」に問い合わせをしてみましょう。

6.1 チケットを作成しよう

QNAP に依頼したい内容を記載したチケットを作成して送ります。



- 1) QNAP の Web 管理画面にログインして、「ヘルプセンター」をクリックします。

- 2) 「ヘルプセンター」が起動します。
「ヘルプセンター」には、「QTS マニュアル」や「オンラインリソース」など、QNAP の設定や日々のメンテナンスに欠かせない情報を検索することができます。

※「ヘルプデスク」に問い合わせる前に「QTS マニュアル」や「オンラインリソース」に疑問点の解答がないか確認をお願いします。

「ヘルプデスク」をクリックします。



- 3) 「ヘルプデスク」が起動します。
「ヘルプ依頼」を選択します。



- 4) 初めて利用する場合は、QNAP ID によるサインインを促されるので、P25 の 4-1. で作成した QNAP ID とパスワードでサインインをします。



設定

移行するには QNAP ID にサインインしてください。(または [QNAP ID の作成](#))

QNAP ID:

パスワード:

[パスワードの再入力](#)

[アクティベーションメールの再送信](#)

- 5) 「ヘルプ依頼」が開きます。
必要事項を入力します。以下の項目は
必須入力です。

[チケット詳細]

- ・ 件名
- ・ 問題の分野
- ・ 問題の種類
- ・ メッセージ

[連絡先情報]

- ・ 電子メールアドレス
- ・ タイムゾーン
- ・ 氏名(名)
- ・ 氏名(姓)
- ・ 所在地

※ ご依頼の内容が QNAP のトラブルシューティングの場合は、
添付ファイルのところの
「QNAP サポートに、システムログへのアクセスを許可する」
にチェックを入れてください。
システムが自動で QNAP 内の必要な情報を集めます。
システムログは、QNAP エンジンアが迅速な問題解決のため
に利用する重要な資料です。

必要事項の入力を終えたら「送信」ボタンをクリ
ックします。

★ TIPS :システムログの手動取得

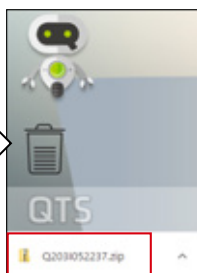
チケット作成時にシステムログを送らず、後日、システムログを求められた場合は、手動で取得することができます。

「ヘルプデスク」→「診断ツール」→「ダウンロードログ」

「ダウンロード」ボタンをクリック



システムログの作成中。



Zip ファイルに圧縮されたシステ
ムログがウェブブラウザからダウ
ンロードされました。P42 の 6-2.4)
のところで、チケットにシステムロ
グを添付して送信してください。

6.2 チケットの進捗確認や返信をしよう

1) 「ヘルプ依頼」が完了すると登録したメールアドレスに QNAP からメールが届きます。

例



ご依頼のチケットの進捗確認や返信をするには、メール内にあるリンク(Q- から始まるチケットナンバー)をクリックして、「QNAP カスタマーサービス」Web ページを開きます。QNAP ID でサインインしてください。

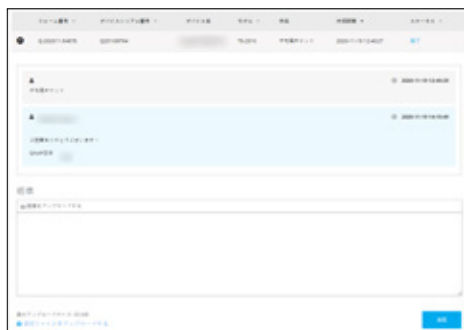
※ このメールは受信専用です。メールに返信をしても QNAP 社には届かないのでご注意ください。



2) 「QNAP カスタマーサービス」に QNAP ID でサインインをします。



3) ログイン後、「サポート」をクリックします。作成したチケットのリストが表示されます。目的のチケットをクリックします。




4) チケットに返信をしたい場合は、内容を書いて「送信」ボタンを押します。

★ TIPS: 「QNAP カスタマーサービス」の URL
メールのリンクからだけでなく、直接、URL にアクセスすることもできます。
QNAP カスタマーサービス: <https://service.qnap.com/ja-jp>

7. QNAP ライフを更に楽しもう

1) ファームウェアの更新について

弊社では、セキュリティ向上や機能追加のため、日々、QNAP 上で稼働しているファームウェアの改良に努めています。最新の安全性と利便性をお手元の弊社製品で実現するため、できる限り、最新の ファームウェアにアップグレードするようにしてください。新しいファームウェアの有無は、「コントロールパネル」から「ファームウェア更新」で確認できます。または、Qfinder Pro をお使いの方は、新しいファームウェアがリリースされるとバージョンの欄のところに  と表示されます。

2) 故障した時は？

QNAP 本体(HDD や周辺機器以外)が故障した時は、ご購入頂いた販売店もしくは正規代理店にお申し出ください。お申し出頂く際には、下記の情報をご用意ください。

- ・ QNAP モデル名
- ・ シリアル番号
- ・ ご利用中の OS バージョン(日付情報まで)
- ・ 故障箇所の具体的な症状

販売店及び正規代理店の窓口は、下記 Web サイトよりご確認ください。

<https://www.qnap.com/ja-jp/where-to-buy/asia-oceania/japan/nas-distributor>

3) 参考 Web サイト

本書「QNAP 簡単セットアップガイド」でご紹介したものは、QNAP の機能のごく一部に過ぎません。今後、更に QNAP の機能を活用していただくために、豊富なハードウェア/ソフトウェアの製品紹介やチュートリアル、Q&A マニュアルなど、お役に立てる情報が掲載されている弊社 Web サイトをご案内致します。

[QNAP 公式サイト <https://www.qnap.com/ja-jp>]

- ・ ダウンロードセンター (<https://www.qnap.com/ja-jp/download>) : OS、ユーティリティ、説明書などをまとめたページ。
- ・ QNAP サポート (<https://www.qnap.com/ja-jp/how-to>) : チュートリアル、FAQ、ナレッジベースをそろえる複合サポートサイト。
- ・ 互換性リスト (<https://www.qnap.com/i/jp/compatibility/>) : HDD、拡張カード、メモリなど QNAP NAS との互換性リスト。
- ・ QNAP アカウント (<https://account.qnap.com/signin?state=%2F>) : QNAP の各種オンラインサービスを利用する QNAP ID の管理サイト。
- ・ myQNAPcloud (<https://www.myqnapcloud.com/home?lang=ja>) : QNAP 製品のリモートアクセス管理サイト。
- ・ QNAP カスタマーサービス (<https://service.qnap.com/ja-jp>) : サポートチケットの作成管理サイト。
- ・ QuWAN (<https://quwan.qnap.com/login>) : QNAP の SD-WAN サービス(QuWAN) の一元管理サイト。
- ・ QNAP 移行の互換性チェック (<https://www.qnap.com/ja-jp/nas-migration/>) : ディスクを古い QNAP から新しい QNAP に移行する際の互換性確認サイト。
- ・ QNAP NAS Community Forum (<https://forum.qnap.com/>) : QNAP 製品の経験者にQ&A。 ※ 英語のみ。

[QNAP 関連サイト]

- ・ QNAP CLUB JAPAN! (<https://www.qnapclub.jp/>) : QNAP ファン有志が集まるサイト。
- ・ 簡単セットアップガイドダウンロード <http://qnap.to/easy-setup-guide>

